

著者紹介

安藤 春彦 Ando Haruhiko

愛知県心身障害者コロニー中央病院副院長。
医学博士。昭和33年名古屋大学医学部卒。
同大学院医学研究科（精神医学専攻）修了
後医学部助手、岐阜県立多治見病院精神科
部長、愛知県心身障害者コロニー中央病院児童精神科部長を経て、
昭和59年4月より現職。抗酒剤の作用機構、老人の精神衛生の研究
を経て、昭和46年9月より1年間、セントルイスのワシントン
大学医学部児童精神科講師。以来、自閉症の精神病理の研究を主
要な専門分野として現在に至る。日本小児精神医学研究会会員

神野 哲夫 Kanno Tetsuo

藤田学園保健衛生大学脳神経外科教授、同
救命救急センター長代行。医学博士。昭和
41年慶応義塾大学大学院脳神経外科専攻。
45年同修了、45年足利日赤病院脳神経外科
副部長、47年藤田学園保健衛生大学医学部第一外科講師、52年同
第一外科助教授、54年同脳神経外科教授、62年同救命救急センター
副センター長、63年同センター長代行。専門分野：脳腫瘍の外科、
高血圧性脳出血、遅延性意識障害、脳腫瘍組織培養。日本脳神経
外科学会、日本脳卒中学会、日本救急医学会。

二村 良博 Futamura Yoshihiro

名鉄病院第一内科部長。医学博士。昭和44
年3月名古屋大学医学部卒、昭和44年4月
名古屋掖済会病院、45年4月社会保険中京
病院内科、47年4月名古屋大学第一内科入
局、57年11月名鉄病院循環器科部長、62年7月名鉄病院第一内科
部長。内科学とくに循環器の血行動態、ME学、脈管学、心臓核
医学を専門とする。日本内科学会、日本循環器学会、ME学会

紀藤 毅 Kitō Tsuyoshi

愛知県がんセンター消化器外科部病棟部長。
医学博士。昭和34年3月名古屋大学医学部
卒業、45年3月まで名古屋大学医学部に
いて腫瘍学、45年4月から愛知県がんセン
ター外科に勤務。40年から45年まで名古屋大学医学部において、
腫瘍外科について研究。45年4月から愛知県がんセンターにおい
て消化器悪性腫瘍の外科診療に従事。専門分野：消化器における
悪性腫瘍の外科。日本外科学会、日本癌治療学会、日本臨床外科
学会。

神谷 順一 Kamiya Junichi

名古屋大学医学部第一外科助手。昭和51年
名古屋大学医学部卒業、56年名古屋大学医
学部第一外科研究生、62年同助手、現在に
至る。胆道、膵臓の腫瘍外科学を専門とす
る。日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化
器内科学会、日本消化器
内視鏡学会。

早川 直和 Hayakawa Naokazu

昭和21年1月24日生。東海病院院長。医学
博士。46年3月名古屋大学医学部卒業、52
年9月名古屋大学医学部付属病院医員、57
年7月県立尾張病院外科部長、57年8月名
古屋大学第一外科助手、61年4月同講師、63年8月同助教授、63
年11月東海病院院長。消化器外科学、腫瘍外科学、レーザー医学。
52年9月より、名古屋大学第一外科において上記の研究に従事。
とくに肝胆膵疾患の外科治療を中心に消化器外科学の研究を行っ
ている。日本外科学会、日本消化器外科学会、日本癌学会、日本
消化器病学会。

早川 律子 Hayakawa Ritsuko

名古屋大学医学部附属病院分院皮膚科科長。
医学博士。昭和38年3月名古屋大学医学部
卒業、39年4月名古屋大学医学部皮膚科学
教室へ入局、40年12月国立名古屋病院、名
古屋大学医学部皮膚科学教室学外副手、42年6月名古屋大学医学
部皮膚科学教室へ帰局、46年11月名古屋大学医学部助手、48年6
月名古屋大学医学部付属病院助手、名古屋大学医学部非常勤講師、
50年5月名古屋大学講師、医学部附属病院分院皮膚科科長、63年4
月藤田学園保健衛生大学医学部客員助教授を併任。専門分野：皮
膚科学（接触皮膚炎、脂質代謝）、日本皮膚科学会、日本化粧品科
学会、日本アレルギー学会、日本接触皮膚炎学会（旧パッチテス
ト研究班）

山雄 健次 Yamao Kenji

藤田学園保健衛生大学坂種病院内科講師。
医学博士。昭和51年3月名古屋大学医学部
卒業、56年1月名古屋大学第二内科、59年
4月愛知県総合保健センター消化器診断部
医長、62年7月同室長、平成元年4月藤田学園保健衛生大学坂種
病院内科講師。消化器内科学の診療と研究（肝・胆道・膵臓の画
像診断）。日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学
会、日本膵臓病学会。